

一 般 質 問 通 告 事 項

(平成29年第2回白岡市議会定例会)

第1通告者 13番 石原富子 議員

1 白岡市として君津市との友好交流協定に関する考えを伺う

2月10日に白岡市議会と君津市議会の交流協定が締結された。小島市長の3期目の選挙公約では市として君津市と友好協定を結ぶとあったが、その進捗状況を伺う。

- (1) 君津市との話し合いのこれまでの経緯と現状はどうか。
- (2) 今後の予定は。
- (3) 協定締結の目標はいつか。

2 市内小学校の通学路の安全性について

新年度が始まり、各学校では通学路の安全点検が行われているが、市内全体での通学路と不審者対策について伺う。

- (1) 白岡市の通学路の安全対策は万全か。
- (2) 交通事故面だけでなく、人通りの少ない場所や、秋冬の夜道などの安全を再点検すべきと考えるがどうか。
- (3) 子ども110番の家との連携をさらに図るべきではないか。

3 乗り合い交通について

乗り合い交通が運行を始めて3年目になるが、市民に定着しているとは言い難い。さらなる利便性の向上と、免許証返納者の対策を伺う。

- (1) 乗り合い交通の利用の現状と利用者の声は。
- (2) 高齢者の運転免許証の保持状況と返納状況は。
- (3) 返納の奨励はどのようにしていくか。
- (4) 返納後の対策は。
- (5) 乗り合いバスを望む声を聞くが、対応は。

4 市内の公衆トイレの今後の整備計画を伺う。

現在色々な方法で白岡市の魅力を発信しているが、公衆トイレ

の整備が十分とは言えない。今後の整備計画を伺う。

- (1) トイレの現状をどのように認識しているか。
- (2) 新白岡駅東口のトイレの老朽化が著しい。多機能化にすべきではないか。
- (3) 市内のトイレの今後の整備計画は。

第2通告者

16番 菱 沼 あゆ美 議員

1 就学援助について

- (1) 就学援助の対象者の現状と近年の推移は、どのようになっているか。
- (2) 国の補助金交付要綱が改正になり、ランドセルなどの入学準備品費用の小学校入学前の支給が可能になったが、今後市の対応はどうか。
- (3) 支給額は倍額になったが、どのような対応になっていくのか。
- (4) 就学援助の申請を促す周知について伺う。
- (5) 要保護と準要保護の援助内容の違いは何か。

2 市制施行5周年記念暮らしの便利帳配布を

- (1) 市制施行5周年記念として、「白岡市暮らしの便利帳」を作成し、市民サービスとして全戸配布してはどうか。
- (2) 買い物弱者対策として、商店などの宅配サービスや、出張サービスの情報を掲載してはどうか。
- (3) 野牛の一部が住所変更になった最新の地図情報も提供できるのではないかと。
- (4) 使いやすい情報冊子にするために市民の代表にチェックを依頼してはどうか。

3 産婦健康診査について

- (1) 出産後の産婦への支援は、どのようにされているか。
- (2) 育児不安や心身の不調からの産後うつ発症予防や、新生児への虐待予防のために、産婦健康診査を実施し、産後ケアにつなげるようにしてはどうか。

4 訪問理容・訪問美容について

高齢者や障がい者などの外出することが困難な方へ、訪問理容・訪問美容の助成をおこなってはどうか。

第3通告者

8番 遠藤 誠 議員

1 スクールカウンセラーについて

- (1) さわやか相談員や支援相談員の現状は。
- (2) 小学校は縮小したが間違いではないか。
- (3) 相談の必要性は誰が決めるのか。
- (4) 本市にはスクールカウンセラーはいないのか。
- (5) 担当者の資格や研修歴は。
- (6) 心のケアに関する学校関係者の研修が必要ではないか。
- (7) 教育支援センターの責任者は誰なのか。
- (8) 心のケアは独立してレベルを上げなければならない分野だという認識と手当てが必要ではないか。

2 市長交際費について

- (1) 28年度の累計153件、711,220円をホームページに掲載すべき。
- (2) 再考の時期ではないか。
- (3) 会議等には市長がほとんど持参しているのか。
- (4) その時間を政策立案に充てるべきでは。

3 市民参加計画と市民参加について

- (1) 広報にあるとおり直前にホームページで開催案内したのはどの程度あるか。
- (2) 本当に傍聴など市民参加を増やす気はあるのか疑問を感じるが。
- (3) 特に教育委員会定例会の傍聴は点検評価にあるが全く増やす努力はないのではないか。

第4通告者

3番 関口 昌男 議員

1 教育行政に関する諸課題について

- (1) 教職員の労働時間管理について。
- (2) 教員の勤務実態の把握について。
- (3) 勤務時間削減の対策について。

(4) 学校給食費の充実と無料化の推進を。

(5) 国に対する制度改正の要望を。

2 白岡中学校周辺区域の都市的土地利用について

(1) アンケートと土地利用を考える会の「まちづくり方針図(案)」作成までの経過について。

(2) 都市的土地利用の今後の進め方について。

(3) 土地区画整理事業についての失敗例からどのようなことを学んでいるのか。

(4) 白岡市の第5次総合振興計画との整合性をどのように取っていくのか。

(5) 営農の継続を希望する地権者をどのように補償するのか。

(6) この事業を進める上での決意について。

第5 通告者

17番 高木隆三 議員

1 認知症対策について

認知症初期支援集中チームを国の「認知症施策推進総合戦略」として2018年には全市町村に設置するとしている。

(1) 設置時期及び支援チームの詳細について。

(2) 相談者から支援チームへの流れで取り組むのか。

(3) 当市の現状と課題は何か。

(4) 広域運営を検討すべきでは。

2 高齢者終活支援について

(1) 1人暮らし高齢者の終活支援(エンディングプランサポート事業)を実施する考えはないか。

(2) エンディングノートの配布を。

3 国民健康保険の医療費適正化について

(1) 多くの薬を日常的に服用している国保被保険者の実態は把握されているのか。また、市として何らかの対策を講じるべきと考えるが、市の見解を伺う。

(2) 厚生労働省は2016年度の診療報酬改定で、医療機関に対し、不必要な薬を減らせば診療報酬を加算される仕組みを導入してい

る。関係機関や市民への意識啓発を更に進めるべきと思うが、医療費適正化（多剤服薬）についてどう進めていくのか。

4 全国瞬時警報システム（Jアラート）について

- (1) 全国瞬時警報システム（Jアラート）の仕組みと目的。緊急情報の対象としているものは何か。
- (2) 白岡市が受信した場合、市民への避難周知はどのようなになるのか。また、弾道ミサイルなどの有事の際の避難場所をどう考えているのか。また、防災無線以外に市民への情報伝達はどのようなになるのか。市民の避難先についての考えは。
- (3) 職員が操作しなくても瞬時に情報を送る自動起動装置の整備はされているのか。
- (4) 誤作動による誤報の発令トラブルがあったが、白岡市の対策は。
- (5) 防災訓練などの場で、Jアラート訓練の実施を。

第6 通告者

14番 大倉 秀夫 議員

1 ふれあいの森公園北側私有地の有効活用について

市役所北側変電所西側の三角の私有地を買収して公園または駐車場の一部として有効活用するのはどうか。

2 市道の路面標示について

十字路、丁字路などの標示が見えにくい箇所が目立つが、29年度予算で実施できる範囲の標示箇所数、センターライン、グリーンベルトの進捗状況は。30年度以降の路面標示の計画予定は。

第7 通告者

2番 渡辺 聡一郎 議員

1 一時保育と保育士の問題について

- (1) 一時保育の現状について伺う。（近年の利用状況、利用理由、キャンセル率等）
- (2) 一時保育の受け入れ拡大へ向けた取組は。
- (3) 保育士の充足状況について伺う。
- (4) 保育士確保策について伺う。（市独自の支援策、潜在的保育士へのアプローチ）

2 新生涯学習センターの運営について

- (1) 運営に係る人員配置の考えを伺う。(専門的人材をどのように確保するか。特に図書館司書、レファレンスサービスの充実について)
 - (2) ソフト面の充実をどのように図るのか。(自主事業の計画は。また、市民とともに創りあげる開館イベントの実現を。)
 - (3) 運営協議会の設置について伺う。
- 3 マーケットインの農業支援について
- (1) 市の農産物を活用した新商品開発事業の取組状況は。
 - (2) 埼玉県「新たな農産物需要創出事業」が始まるが、市はどのように考えるか。
 - (3) 市が目指す農の担い手像は。(担い手育成にどのような取組を進めるか。営農組織化・法人化の取組についても含め伺う。

第8 通告者

6 番 細 井 公 議員

1 公共施設広域利用の実態について

市内の広域利用対象公共施設はほとんどが東部中央都市連絡協議会と田園都市づくり協議会の双方を対象としているが、老人福祉センターだけが田園都市づくり協議会のみを対象となっており、一施設のみ東部中央都市連絡協議会から除外されている理由を伺う。

2 市民ファーストの行政について

住民に有効な条例を告知せず、有益な情報を出さずという行政が本当の市民ファースト、市民のための政治なのか市長の政治姿勢を伺う。

第9 通告者

4 番 斎 藤 信 治 議員

1 業務継続計画の進捗状況は

昨年、6月議会で業務継続計画（BCP）について質問した。進めていくとの回答だったと思うが、進捗状況はいかがか。

- (1) 現況について。
- (2) 計画書の作成予定時期について。
- (3) 電算システム関連の現況について。
- (4) 電算システム関連計画書の作成予定時期について。

- (5) 電力供給について。
- (6) サーバー設備の対応について。

第10通告者

1番 井上 日出巳 議員

1 市の創業支援について

- (1) 市の創業支援体制と支援内容は。
- (2) 創業に関する相談件数と創業に至った件数は。
- (3) 創業希望者への広報は。

2 マイナンバーを事業者向け住民税額通知書に記載することについて

総務省令の改正により、今年度から記載することとなったが、自治体の対応が割れていると聞く。

- (1) 当市の対象件数は。
- (2) 当市の対応と埼玉県内の状況は。
- (3) この状況をどう見るか。

3 白岡駅西口再開発について

駅前広場の拡張と都市計画道路（西口線）の整備のための用地買収が順次進められている。

- (1) グランドデザインはあるのか。
- (2) どのような整備手法を考えているのか。
- (3) 今後のスケジュールと財源は。シミュレーションしてあるのか。

第11通告者

7番 大島 勉 議員

1 ふるさとハローワークの設置について

- (1) 当市の雇用環境に対して、どのような認識か。
- (2) 市で進めている雇用対策の現状と成果は。
- (3) ふるさとハローワーク誘致に対する見解は。

第12通告者

9番 黒 須 大一郎 議員

1 下水道について

- (1) 公共下水道の接続率の進捗状況は。
- (2) 今後の公共下水道計画と課題は。

※総費用と計画終了目標年次等

- (3) 下水道広報プラットフォーム（G K P）に参加し、マンホールカードを発行して、下水道の真の価値を広く周知すべきだが、いかがか。

2 更なる予算編成過程の透明化を

財政民主主義を実質化するためには、予算編成過程を透明化することが、第一条件と考える。そこで、現在の状況と今後についての考えを伺う。

※公表状況は、紙情報でなく w e b を対象とする。

- (1) 予算編成は、決算⇒政策評価⇒予算編成 { 予算編成方針→予算要求→予算要求の査定→予算案の決定 } ⇒予算の議決⇒予算執行⇒決算

以上が概ねの流れと思われる。以下、項目を挙げるので実施状況の回答を。

決算の概要 3 点、決算書 3 点、決算説明書 5 点、普通会計分の財務諸表 3 点、公営事業・出資法人を含む連結財務諸表 3 点、政策評価調書 4 点、各個別事務事業評価調書 4 点、各個別公共事業評価調書 5 点、予算編成方針 4 点、予算要求〔各課別 4 点、各部分別 3 点、事業別 3 点、前年度事業別予算額 2 点、事業別内容 4 点、事業別財源 3 点〕の掲載時期が予算議会開会前 5 点、予算査定〔査定額 3 点、査定理由 3 点、市長査定額 3 点、市長査定理由 4 点〕の掲載時期が予算議会開会前 5 点、予算書の概要 3 点、予算書 3 点、目・節を含む予算説明書 5 点、予算編成過程で市民の意見聴取 1 3 点

以上合計 1 0 0 点である。自己申告で状況を。

- (2) 予算要求額や予算査定額等の公表は。

※公表時期も含め伺う。

- (3) 市民が予算案に意見を述べる機会は。

※時期、手段、回答も含む。

3 学ぶ子も教える人も元気になるために

学校教育法施行規則の一部を改正する省令の施行（平成 2 9 年

3月14日通知28ス庁第704号)により、どのような施策展開を図っていくのか。

(1) 市の学校における部活動の位置付けとボランティア部活動指導員の状況は。

(2) 教員の勤務状況は。

※平日、休日どのくらい把握しているのか。

(3) かつてご答弁で、県中学校体育連盟での検討結果や動きを見守りより良い活動を支援していきたいとしている。どうしてきたのか。

また、市内の学校部活は、運動部ばかりでなく吹奏楽部など文化部などもあるが、その場合は。

(4) 市独自の部活動（運動部・文化部を含む）ガイドラインの策定を。

※学校支援者及び部活動指導者バンクの整備も。

(5) 市内NO部活デーの実施を。

※0の付く日。